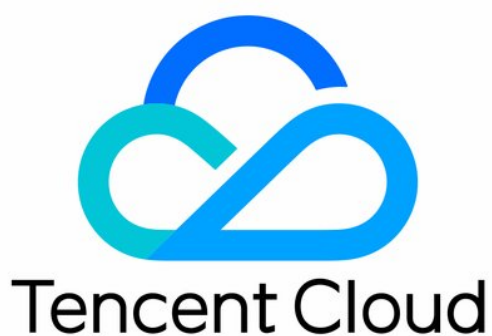


Cloud Virtual Machine

購入ガイド

製品ドキュメント



Copyright Notice

©2013-2024 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

Trademark Notice



All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

カタログ：

購入ガイド

課金

購入インスタンス

課金の仕組み

購入方法

価格一覧

購入説明

購入制限

インスタンスコンフィギュレーション調整費用の説明

停止済みインスタンスの非課金化

CBSの購入

CBSタイプ説明

CBS料金一覧

リザーブドインスタンスの購入

リザーブドインスタンスの概要

リザーブドインスタンスのマッチングルール

リザーブドインスタンスに関するユーザーガイド

リザーブドインスタンスの作成

パブリックネットワークを購入する

パブリックネットワーク課金方式

パブリックネットワーク料金

パブリックネットワーク帯域幅の上限

パブリックネットワーク課金方式の変更

イメージの請求

EIP 課金

お支払い遅れについて

ディスクメディアの仕様変更による差額分の支払い

購入ガイド

課金

最終更新日：2024-08-07 09:57:09

[CVM価格計算ツール](#)を使用して、必要な各製品を組み合わせた価格を確認し、リソースのコストを見積もることができます。必要な製品を買い物リストに追加すると、ワンクリックで簡単に購入できます。

ご注意：

取得した価格の正確性を保証するために、ログインしてご確認ください。

課金モデル

Tencent Cloudは、年間サブスクリプション、リザーブドインスタンス、従量課金インスタンスとスポットインスタンスによる4種類のCVM購入方法を提供しており、それぞれ異なるシーンでのユーザーのニーズに適しています。より詳細な内容については、[課金モデル](#)をご参照ください。

インスタンス

インスタンスのホストのハードウェア構成は、インスタンスタイプによって決まります。各インスタンスタイプは、異なるコンピューティング性能やストレージ容量を提供します。サービス規模に応じて最適なインスタンスのコンピューティング能力、ストレージ領域、ネットワークアクセス方式を選択できます。

Tencent Cloudでは、基盤となるハードウェアに基づいて最適化されたさまざまなインスタンスタイプが用意されています。具体的な詳細は [インスタンス仕様](#) をご参照ください。

インスタンス料金の詳細については、[インスタンスの課金モデル](#) をご参照ください。

ストレージ

Tencent CloudはCVMインスタンスにフレキシブルで経済的かつ使いやすい各種データストレージデバイスを提供しています。ストレージデバイス別にパフォーマンスと料金が異なり、さまざまなユースケースに適しています。ストレージは異なる次元によって、以下の数種類に分けることができます。

ユースケースによって、システムディスクとデータディスクに分かれます。

アーキテクチャによって、クラウドディスク、ローカルディスク、COS バケットに分かれます。

Tencent Cloud は現在、Premium Cloud Storage、Balanced SSD、SSD、Enhanced SSD、ulTra SSD など、複数のタイプのクラウドディスクを提供しています。課金モデルには、サブスクリプション、従量課金制、およびスポッ

トが含まれます。

ディスクの価格の詳細については、[\[CBS料金一覧\]](#)をご参照ください。

ネットワーク帯域幅

Tencent Cloudが提供するすべてのプロバイダのアクセスは複数回線のBGPネットワークで、回線の品質を保証しています。ネットワーク使用量には、トラフィック課金と帯域幅課金の2つの課金方法があります。

帯域幅課金：パブリックネットワークの転送速度（Mbps単位）によって課金されます。帯域幅使用率が10%を超える場合は、帯域幅に基づいて課金する帯域幅課金方式を選択することをおすすめします。

トラフィック課金：パブリックネットワークで伝送されたデータ量（GB単位）によって課金されます。帯域幅使用率が10%未満の場合、トラフィックに基づいて課金するトラフィック課金方式を選択することをおすすめします。

ネットワーク課金モデルの詳細については、[\[パブリックネットワーク課金方式\]](#)をご参照ください。

イメージ

イメージを使用すると、一定の料金が発生します。各タイプのイメージ料金は次のとおりです。課金の詳細については、[\[イメージの請求\]](#)をご参照ください。

イメージタイプ	説明
パブリックイメージ	オープンソースイメージと商用イメージを含みます。 オープンソースイメージを使用する場合、ライセンス料を支払う必要はありません。 商用イメージを使用する場合、一定のライセンス料が発生します。
カスタムイメージ	カスタムイメージの課金は、次の2種類の料金で構成されます： スナップショット料金：イメージはCBSのスナップショットサービスを使用しているため、カスタムイメージを保持すると、スナップショット料金が発生します。中国本土には 80GBの無料枠 が提供されます。使用量が80GBを超えた分は、従量課金となります。詳細については、 スナップショットの請求 をご参照ください。 イメージ料金：カスタムイメージのソースが有料イメージである場合、そのカスタムイメージを使用すると料金が発生します。

共有イメージ

共有イメージは、作成されたカスタムイメージを他のTencent Cloudアカウントに共有したものです。共有イメージのソースが有料イメージかである場合、そのカスタムイメージを使用すると料金が発生します。

購入インスタンス 課金の仕組み

最終更新日：：2024-05-08 14:44:53

Tencent Cloud では、Cloud Virtual Machine（CVM）の購入方法として、年額・月額課金、従量課金、ビッドインスタンス、リザーブドインスタンスの4種類が提供されており、それぞれ異なるケースのユーザーニーズに適しています。

次の表は、4つの課金方式の違いを示しています。

インスタンスの課金方法	年額・月額課金	従量課金	スポットインスタンス	リザーブドインスタンス
支払方法	前払い	購入時に 費用を凍結 し、1時間ごとに清算	購入時に 費用を凍結 し、1時間ごとに清算	前払い
課金単位	米ドル/月	米ドル/秒	米ドル/秒	米ドル/年
単価	単価がやや低い	単価がやや高い	価格は変動します。ほとんどの場合、価格は同じ仕様の従量課金制インスタンスの価格の約 10 ～ 20% です	単価がやや低い
最低利用時間	少なくとも1ヶ月使用	秒単位で課金、1時間毎に清算。いつでも購入してリリースできます	秒単位で課金、1時間毎に清算。いつでも購入してリリースできます。システムによって自動的にリサイクルされることもあります	少なくとも1年間利用します
インスタンス構成の変更	いつでもコンフィギュレーションの上げ下げが可能。各CVMのインスタンスのアップグレードは無	制限なし。構成はいつでも変更できます	構成の変更はサポートされていません	構成の変更はサポートされていません

	制限、デグレードは5回まで可能			
ユースケース	長期的に安定したデバイス需要を持つ成熟したビジネス向け	eコマースでの買い占めなど、デバイスの需要が瞬間的に大きく変動するシナリオに適しています。	ビッグデータコンピューティング、ロードバランシングを使用したオンラインサービス、Webサイトサービスなどのシナリオに適しています	従量課金インスタンス料金に比べて大幅な割引が適用されるリザーブドインスタンスは、柔軟性、高コストパフォーマンスの完全な両立を実現し、デバイス需要量が長期的に安定している成熟した業務に適しています
課金方式の変換	サポートしません	年額・月額課金に変換できます。詳細については 従量課金インスタンスの年額・月額課金への変換 を参照してください。	サポートしません	サポートしません

年額・月額課金

年額・月額課金は、CVMのインスタンスの前払い方式であり、1ヶ月または数ヶ月、数年分の料金を一括に支払う方式です。この支払い方式は、デバイス需要が事前に予測されるケースに適しており、価格は従量課金より安いです。年額・月額課金のCVMの価格詳細については、++[価格一覧](#)を参照してください。

年額・月額課金のCVMインスタンスは、購入してから使用する方式です。ユーザーは前払い方式でクラウドサービスを購入する際に、システムはユーザーが購入を選択したリソースハードウェア（CPU、メモリ、データディスクを含む）とネットワークの料金に基づいて、ユーザーのクラウドアカウントから相当する金額を差し引きます。CVM購入時の差し引き金額 = 申し込んだCVM数 × CVMの単価。そのため、ユーザーがCVMを購入する前に、クラウド料金アカウントの残高を確認してください。残高が差し引かれる金額より少ない場合は、トップアップしてから購入してください。

従量課金

従量課金制は、CVMインスタンスの柔軟な課金モードであり、インスタンスをいつでもアクティブ化/終了することができ、実際に使用したリソース量に応じて料金が請求されます。**秒単位**まで正確で、前払いの必要がなく、1

時間ごとに決済されます。この課金モードは、Eコマースでのフラッシュセールなど、デバイスの需要が瞬間的に大きく変動するシナリオに適しています。

従量課金制のCVMインスタンスをアクティブ化すると、このCVMの1時間のハードウェア費用（CPU、メモリ、データディスクなど）をデポジットとしてアカウント残高に凍結され、正時（北京時間）ごとに決済し、過去1時間の使用量に応じてアカウントから料金を差し引きます。CVMインスタンスを購入すると、料金を「時間料金」として表示されますが、実際は**秒単位**で計算が行われ、費用は小数点第2位を四捨五入します。課金は、インスタンスの作成時に開始され、インスタンスのリリース時に終了します。

従量課金制のCVMインスタンスが作成されると、1時間のインスタンス費用をデポジットとしてアカウント残高に凍結されます。CVMインスタンスの設定を変更すると、購入時に凍結された費用が解凍され、新しい設定の単価に従って費用が再び凍結されます。CVMインスタンスが終了すると、凍結されたデポジットはアカウントに返金されます。

条件に該当する従量課金インスタンスは、シャットダウン後に課金されません。具体的な制限条件については、[停止済みインスタンスの非課金化](#)をご参照ください。「停止済みインスタンスの非課金化」の条件に該当しない場合は、シャットダウン後も通常どおり課金されます。

スポットインスタンス

スポットインスタンスはCVMインスタンスの提供形態の一つであり、従量課金制と同様に、秒単位で請求されますが、1時間ごとに決済されます。スポットインスタンスは市場における需要状況に応じて価格を変動するため、従量課金制価格と比較して最大**90%**の大幅な割引価格で購入できます。ただし、スポットインスタンスは、在庫不足または他のユーザーからの高い入札により、システムによって自動的に差し戻される場合があります。

スポットインスタンスのポリシー、ユースケースおよび制限事項の詳細については、[スポットインスタンス](#)をご参照ください。

リザーブドインスタンス

リザーブドインスタンス課金は、実際の物理インスタンスではなく、ユーザーが使用する従量課金物理インスタンスに適用される請求書割引であり、本質的には依然として課金モードである前払いモードです。従量課金は、請求書割引を受けるためにリザーブドインスタンスの通常のライフサイクル範囲内であり、属性がリザーブドインスタンスと完全に一致している必要があります。リザーブドインスタンスは、従量課金モードよりも価格が安いです。

リザーブドインスタンスの属性が使用されている従量課金制の物理インスタンスの属性と一致すると、リザーブドインスタンスの割引が適用され、キャパシティ予約が利用されます。既存のインスタンスに基づいてリザーブドインスタンスを直接購入することができ、新規購入することもできます。

リザーブドインスタンスは、一定の期間分の予約金を払うことでお得な割引を受けることができます。元の年額/

月額課金モードと従量課金モードと比較して、リザーブドインスタンスと従量課金インスタンスを組み合わせた課金モードは柔軟性とコスト面での優位性を兼ね備えており、最大の割引を提供しています。

購入方法

最終更新日：2024-04-26 16:53:29

ユーザーはコンソールまたは API 経由で CVM インスタンスを購入することができます。このドキュメントでは、これらの2つの購入方法について詳しく説明します。

公式ウェブサイトからのインスタンスの購入

すべてのユーザーは [Tencent Cloud の Cloud Virtual Machine \(CVM\) 購入ページ](#) からクラウドサービスを購入することができます。課金方式により、ユーザーは、年額・月額課金（月/年ごとに購入）、従量課金（秒単位で計算、時間単位で決済）、ビッドインスタンス（秒単位で計算、時間単位で決済）の3種類の CVM を購入することができます。詳しくは CVM の [課金方式の説明](#) を参照してください。

以下では、公式サイトでこれら3種類のCVMを購入する際の具体的な操作手順について説明します。

年額・月額課金

1. [Tencent Cloud の CVM 購入ページ](#) にログインします。
2. カスタムコンフィギュレーションでモデルを選択する時に、**課金方式** は **年額・月額課金** を選択します。
3. 実際のニーズとページプロンプトに従って、地域、利用可能なゾーン、ネットワーク、インスタンスなどのコンフィギュレーション情報を設定します。
4. オーダーを確認した後、残高支払い、オンラインバンキング支払い、WeChat 支払い、QQ ウォレットなどの方法で支払うことができます。
5. オーダーの支払い後にすぐにサーバーを有効にし、約1-5分待ってIPアドレスが表示されると、ログインして管理することができます。

ご注意：

各コンフィギュレーションについて、++++[CVM 価格一覧](#)、[Cloud Block Storage \(CBS\) 価格一覧](#)、[パブリックネットワーク課金方式](#) などのヘルプドキュメンテーションを参照し、実際のニーズに応じて購入することができます。

購入説明と注意事項の詳細については、[公式サイトで購入説明](#) を参照してください。

年額・月額課金インスタンスは、早期払い戻しをサポートしません。必要なコンフィギュレーションを確認してからオーダーの支払いを行ってください。

従量課金

1. [Tencent Cloud CVM購入ページ](#) にログインします。
2. 課金方法で「従量課金」を選択します。
3. 実際のニーズとページの指示に応じて、リージョン、アベイラビリティゾーン、ネットワーク、インスタンスなどの情報を設定します。

4. 注文内容を確認した後、残高支払い、インターネットバンキング決済などの方法で支払いをします。

5. CVMインスタンスは、お支払い完了後すぐにアクティブ化されます。IPアドレスは、表示されるまで約1～5分かかります。その後、CVM インスタンスにログインして管理できます。

ご注意：

従量課金CVMインスタンスをアクティブ化したら、アカウントの残高が十分であることを確認してください。残高が不足している場合、支払いが滞ったり、場合によってはインスタンスが取り消されたりする可能性があります。詳細については、[支払い延滞の説明](#) をご参照ください。

各設定については、[CVM価格一覧](#)、[CBS価格一覧](#)、[パブリックネットワーク課金モデル](#) などのヘルプドキュメントをご参照のうえ、必要に応じてCVMインスタンスを購入できます。

購入に関する詳細や注意事項等は、[こちら](#) をご確認ください。

スポットインスタンス

1. [Tencent Cloud CVM購入ページ](#) にログインします。

2. 課金方法で「スポットインスタンス」を選択します。

3. 実際のニーズとページの指示に応じて、リージョン、アベイラビリティゾーン、ネットワーク、インスタンスなどの情報を設定します。

4. 注文内容を確認した後、残高支払い、インターネットバンキング決済などの方法で支払いをします。

5. CVMインスタンスは、お支払い完了後すぐにアクティブ化されます。IPアドレスは、表示されるまで約1～5分かかります。その後、CVM インスタンスにログインして管理できます。

ご注意：

CVMスポットインスタンスをアクティブ化したら、アカウントの残高が十分であることを確認してください。残高が不足している場合、支払いが滞ったり、場合によってはインスタンスが取り消されたりする可能性があります。

各設定については、[CVM価格一覧](#)、[CBS価格一覧](#)、[パブリックネットワーク課金モデル](#) などのヘルプドキュメントをご参照のうえ、必要に応じてCVMインスタンスを購入できます。

購入に関する詳細や注意事項等は、[こちら](#) をご確認ください。

API を介してインスタンスの購入

API を介してCVMインスタンスの購入を希望するユーザーは、APIドキュメント [RunInstances](#) をご覧ください。

価格一覧

最終更新日：2022-09-01 17:12:46

Cloud Virtual Machine (CVM) インスタンスにはハードウェア (CPU、メモリ)、ディスク (システムディスク、データディスク)、ネットワークが含まれます。購入時に、購入ページは対応する資料を提供します。ここではまずCVMインスタンスハードウェア (CPUとメモリ) の価格、購入およびグレード変更について説明します。

従量課金インスタンス価格

説明：

この章ではCVMの従量課金の価格ルールを紹介します。具体的な価格は [CVM価格計算ツール](#) をクリックして計算してください。

CVMの一部のインスタンスタイプの従量課金は三段階の段階価格を実行します。三段階の段階価格をサポートするインスタンスタイプについては、新規購入、従来の仕様のCVMインスタンスは、いずれもこの段階価格基準の課金を参照します。各インスタンスタイプの三段階の段階価格に対するサポート状況については、購入ページ内の段階料金明細をご参照ください。

注意事項

従量課金インスタンス公表価格の単位は時間で、1秒単位で課金され、1時間単位で決済されます。

CVM段階方式はCPUとメモリ料金のみに関するものであり、ネットワークとディスクの料金は含みません。

価格計算ツールが示すのは全て第一段階価格です。

三段階の段階価格をサポートするインスタンスタイプ：第二段階価格＝第一段階価格×50%、第三段階価格＝第一段階価格×34%

三段階の段階価格をサポートしないインスタンスタイプ：第一段階価格＝第二段階価格＝第三段階価格

各インスタンスタイプの段階価格に対するサポート状況は、購入ページと料金センターの段階料金明細をご参照ください。

段階ルールは同一の設定にのみ適用され、設定が変更された場合、料金は新しく設定された第一段階から改めて課金されます。

CVMを例にとると、元の構成が2コア4GBで、使用時間が100時間に到達すると、段階価格の第二段階に進みます。このとき構成を1コア2GBに調整すると課金は1コア2Gの第一段階から計算されます。

従量課金の支払い延滞メカニズムに変更はありません。 [従量課金の支払い延滞メカニズム](#) をクリックして確認してください。

従量課金のCVM割引を受けません。

条件に該当する場合、従量課金インスタンスのシャットダウン後のインスタンス (CPU、メモリ) 料金は課金されません。具体的には [従量課金の停止済みインスタンスの非課金化説明](#) をご参照ください。

停止済みインスタンスの非課金化期間は、インスタンスは三段階の段階価格の計算時間の累計を一時停止します。インスタンスを再起動すると、シャットダウン前の三段階の段階価格の計算時間の累計を継続します。停止済みインスタンスの非課金化の条件に該当しない場合は、シャットダウン後も通常どおり課金されます。

購入説明

最終更新日：：2023-02-08 15:45:18

本節では、主にCVMを公式サイトから購入する方法と購入に関する考慮事項について説明します。

CVMを購入するには、CVM購入ガイドをご参照ください。

[Windows CVMの作成](#)

[Linux CVMの作成](#)

購入制限

最終更新日：2023-02-24 18:16:03

CVMインスタンスを購入する前に、Tencent Cloudアカウントの実名認証を行う必要があります。実名認証が済んでいないユーザーはCVMインスタンスを購入できません。

実名認証の方法：Tencent Cloudの実名認証は個人実名認証と企業実名認証に分けられます。[実名認証の種類](#)を参照し、実名認証を行ってください。

購入制限の詳細

従量課金CVMインスタンスの購入制限

次の機能は、従量課金CVMインスタンスでは利用できません。

代理店による立替払い

後払い月次決済ユーザー

各ユーザーが各アベイラビリティゾーンで購入可能な従量課金制のCVMインスタンスの総数は30台～60台です。購入制限数の詳細については、CVM 購入ページにアクセスしてください。既存の購入数クォータが実際のニーズを満たすことができない場合は、[インスタンス購入数クォータの引き上げを申請](#)してください。

インスタンス購入数クォータの引き上げを申請する

購入を希望するインスタンス数が対応するリージョンのクォータを超過している場合は、クォータの引き上げ申請を行うことができます。Tencent Cloudはお客様の実際のニーズに対して評価を行い、承認後にクォータを引き上げます。[インスタンス購入数クォータの引き上げ](#)をご参照の上、引き上げを希望する購入数クォータの課金モデル、対象のリージョン、希望クォータ、インスタンス構成および申請理由を選択および入力し、申請を提出してください。

ご注意：

複数のアベイラビリティゾーンで申請を希望し、アベイラビリティゾーンごとに希望するクォータが異なる場合は、複数回に分けて申請を行う必要があります。

インスタンスコンフィギュレーション調整費用の説明

最終更新日：2024-03-14 14:36:21

Tencent Cloud インスタンスのハードウェアデバイスを簡単かつ迅速に調整することができることは、クラウド上の仮想サーバーが物理サーバーよりも使いやすいという重要な特徴です。

お客様のビジネス負荷が拡大または縮小し、Cloud Virtual Machine (CVM) のインスタンスコンフィギュレーションをアップグレードまたはデグレードする必要がある場合は、コンソールでコンフィギュレーションを調整することで実現することができます。課金処理後、CVM はすぐに新しいコンフィギュレーションで動作します。コンフィギュレーションを調整するための[前提条件と注意事項](#)については、[インスタンスコンフィギュレーションの調整](#)を参照してください。

コンフィギュレーションを調整する[操作ガイド](#)については、[インスタンスコンフィギュレーションの調整](#)を参照してください。

月額課金インスタンスコンフィギュレーションのアップグレード

料金ルール

インスタンスコンフィギュレーションのアップグレードは日ごとに差額を補い、アップグレード料金 = 月ごとのアップグレード差額 × アップグレード月数 × [適用する割引](#) となります。

月ごとのアップグレード差額：新旧コンフィギュレーションの元値は月ごとの単価です。

アップグレードの料金は日ごとに計算される：

アップグレードの日数 = リソース有効期限満了時刻 - 現在の時刻

アップグレードの月数 = アップグレードの日数 / (365/12)

適用する割引：アップグレードの月数に基づいて公式サイトの適用する割引をマッチングします。そのうち、割引は公式サイトで有効になっている割引です。

アップグレードは、リソース有効期間の満了時刻に影響しません。

アップマッチングは、金券やプラットフォームの贈呈残高（贈呈マネー）を使って料金を相殺することができます。

説明：

運営活動のアップグレードポリシーは、月額課金インスタンスコンフィギュレーションのアップグレードルールと同じです。即ち、アップグレード料金 = 月ごとのアップグレード差額 × アップグレードの月数 × [適用する割引](#) となります。そのうち、適用する割引は公式サイトで有効になっている割引です。

課金の例

説明：

以下の価格はあくまで例であり、公式サイト上の実際の価格ではありません。インスタンスの単価については、[CVM の価格設定](#) を参照してください。

背景

2022 年 12 月 31 日、2 コア 2 GB RAM の CVM を購入し、年額・月額課金の単価は 16.8 ドルです。

事例一

2023 年 5 月 1 日、2 コア 2 GB RAM の CVM を 4 コア 8 GB RAM にアップグレードしました。そのコンフィギュレーションの単価は月額 44.8 ドル。

月ごとのアップグレード差額 = $44.8 - 16.8 = 28$ 月額ドル

アップグレードの日数 = $31 \times 4 + 30 \times 3 + 30 = 244$ 日

となり、そのうち、4 は 7、8、10、12 の 4 ヶ月、3 は 6、9、11 の 3 ヶ月であり、最後の 30 は 5 月の 31 日から 1 日を引いたものです。

適用する割引：年額・月額課金ルールに従い、月額課金の期間が 6 - 11 ヶ月の場合は、12% の割引を受けることができます。

アップグレード料金 = $(44.8 - 16.8) \times (244 / (365/12)) \times 0.88 = 197.66$ ドル

月額課金インスタンスコンフィギュレーションのデグレード

料金ルール

インスタンスデグレードの払い戻し金額 = インスタンスの払い戻し費用 - 新規仕様の購入料金

払い戻し金額が 0 を超えた場合は、コンフィギュレーションのデグレードは実施され、払い戻し費用は**元の支払いルートで払い戻す**方式で Tencent Cloud アカウントに払い戻されます。

払い戻し金額が 0 以下の場合は、コンフィギュレーションのデグレードは実施されますが、払い戻しは行われません。

購入時に割引または金券が使用された場合は、割引または金券の払い戻しは行われません。

そのうち、インスタンスの払い戻し費用の詳細なロジックは以下のとおりです。

インスタンスの払い戻し費用 = 現在有効なオーダー金額 + 未開始のオーダー金額 - リソースの使用済み価値。

現在有効なオーダー金額：有効なオーダーの支払い金額（割引と金券を除く）を指します。

未開始のオーダー金額：これから有効になるオーダーの支払い金額（金券を除く）を指します。

リソースの使用済み価値は以下のポリシーに従って計算されます。

使用済み部分 = 使用済み CVM 料金 + 使用済みネットワーク料金

使用済み CVM 料金：ユーザーが払い戻しを請求した日に、CVM が丸 1 ヶ月間使用された場合は、1 ヶ月分の年額・月額課金の価格とそれに対応する公式ウェブサイト上の割引に従って金額を差し引きます。1 ヶ月間未満の場合は、使用した期間分の従量課金の価格に従って金額を差し引きます。

公式サイトにおける割引の詳細については、[価格一覧](#) を参照してください。

使用済みネットワーク料金：ネットワーク部分の課金タイプに従って計算する必要があります。ネットワークの課金タイプが従量課金の場合は、ネットワーク部分の使用済み料金は0です。ネットワークの課金タイプが帯域幅による課金の場合は、使用済みネットワーク料金＝従量課金のCVMの1時間あたりの帯域幅コ料金×使用時間となります。

使用済み部分は秒単位で計算されます。

課金の例

説明：

以下の価格はあくまで例であり、公式サイト上の実際の価格ではありません。インスタンスの単価については、[CVMの価格設定](#)を参照してください。

インスタンス払い戻しの事例：

広州第二ゾーン 標準型 S5 2コア 2GB 20GB ローカルハードディスク、帯域幅を含まない、6.02ドル/月、10ドルのクーポンを使用し、1年購入し、年間課金で83%オフになります。割引後の金額は $6.02 \times 12 \times 0.83 = 59.96$ （ドル）、支払い金額は $59.96 - 10 = 49.96$ （ドル）です。お客様は、S5を購入してから5日以内に48時間使用し、さらに1年更新し、年間課金は公式ウェブサイトでは83%オフを受けたので、更新のために実際に支払った金額は59.96ドルになります。払い戻し金額 = 49.96 （現在有効なオーダー金額）+ 59.96 （未開始のオーダー金額）- 0.01 （従量課金インスタンスの価格）× 48 （時間）= 109.44 （ドル）。

停止済みインスタンスの非課金化

最終更新日：2023-04-11 17:08:41

停止済みインスタンスの非課金化とは、従量課金インスタンスは[停止済みインスタンスの非課金化]オプションを選択すると、インスタンスの状態が停止となっている場合は、インスタンス (CPU、メモリ) に対して課金されないことを意味します。[クラウドディスク](#) (システムディスクとデータディスク) やイメージなどのコンポーネントに対して引き続き課金されます。

使用制限

停止済みインスタンスの非課金化機能は、システムディスクとデータディスクがいずれもクラウドディスクである従量課金インスタンスにのみ適用されます。

停止済みインスタンスの非課金化機能は以下のシーンには**適用されません**：

ログインしたインスタンスの起動/シャットダウンには適用されません。

ローカルディスクにアタッチされているインスタンスには適用されません。

スポットインスタンスには適用されません。

支払い遅延によって停止したインスタンスには適用されません：インスタンスと関連リソースが支払い遅延のために停止した場合、支払い遅延期間中、インスタンスは課金を停止し、コンピューティングリソースとパブリックIP もリリースされます。ただしアカウントの残高がプラスになるまでチャージされると、インスタンスと関連リソースの課金が再開されます。

「停止済みインスタンスの非課金化」機能を有効にした後、3段階の価格設定モデル（[従量課金インスタンスの価格](#)を参照）をサポートする従量課金インスタンスは、使用時間を累計計算しなくなります。インスタンスの再起動後、その使用期間は引き続きカウントされます。

一括停止操作の中に、「停止済みインスタンスの非課金化」機能をサポートするインスタンスとサポートしないインスタンスが同時に含まれる場合は、次のようになります：

「停止済みインスタンスの非課金化」機能をサポートするインスタンスは、CPU とメモリはシャットダウン後に**課金されません**

「停止済みインスタンスの非課金化」機能をサポートしないインスタンスは、シャットダウン後も引き続き課金されます。

当該機能を有効にした場合の影響

「停止済みインスタンスの非課金化」機能が有効になっている場合、インスタンスがシャットダウンされた後に下記のような影響があります：

インスタンスがシャットダウンされると、そのCPUとメモリが解放され、リソース不足のためにインスタンスの再起動に失敗する場合があります。この場合、しばらくしてからインスタンスを再起動してみてください。それでも起動しない場合は、他のインスタンス仕様をお試してください。詳細については、[インスタンス構成の変更](#)をご参照ください。

インスタンスにパブリックIPアドレスが割り当てられている場合、このIPはシャットダウン後に自動的に解放され、インスタンスの再起動が失敗する可能性があります。インスタンスの再起動が成功すると、新しいパブリックIPが割り当てられますが、プライベートIPは影響を受けず、変わらず維持されます。

パブリックIPアドレスが変わらないようにする場合は、インスタンスをシャットダウンする前にパブリックIPアドレスをEIPに変換してください。このようにして、インスタンスがシャットダウンされた後、EIPは保持され、料金は発生しなくなります。

インスタンスがシャットダウンされると、インスタンスの起動を除くほとんどの操作（例えば、構成、ディスク、ネットワークの調整、OSの再インストール、インスタンスの再起動、パスワードのリセット、更新、名前変更など）が利用できなくなります。**これらの操作を実行するには、インスタンスを起動する必要があります。**

構成/ディスクの調整、OSの再インストール、およびその他のメンテナンス操作を実行するにはインスタンスをシャットダウンする必要がある場合、このシャットダウン期間中、「停止済みインスタンスの非課金化」ポリシーは適用されません。

操作ガイド

[停止済み従量課金インスタンスの非課金化](#)をご参照ください。

CBSの購入

CBSタイプ説明

最終更新日：：2021-08-02 16:28:25

Cloud Block Storage (CBS) は、高可用性、高信頼性、低コスト、カスタマイズ可能なネットワークブロックデバイスであり、Cloud Virtual Machine (CVM) の独立した拡張可能なハードディスクとして利用することができます。CBSは、データブロックレベルのデータストレージを提供し、3つの複製による分散型のメカニズムを採用することで、CVMにデータの信頼性の保証をもたらします。製品としては、**高性能CBS**、**SSD CBS**、**強化型SSD CBS**、**超高速型SSD CBS**の4種類のCBSタイプを提供し、それぞれのハードディスクタイプ、性能、特徴、価格はいずれも異なりますので、デプロイするユースケースの要件に応じて、ご自身で選びいただけます。

注意事項

強化型SSD CBSおよび超高速型SSD CBSは、現在一部のアベイラビリティゾーンでのみ販売を開始しています。今後、販売するアベイラビリティゾーンを順次追加していく予定です。

強化型SSD CBSは2020年8月1日以降に作成したS5、M5、SA2およびそれ以上の新世代モデルにのみマウント可能です。旧世代のインスタンスにマウントした場合、**お約束する性能を保証できません**。

超高速型SSD CBSはストレージ拡張型CVM S5seと一緒にのみ購入できます。その他タイプのCVMは超高速型SSD CBSをサポートしていません。

強化型SSD CBSおよび超高速型SSD CBSは、現在システムディスクとしての利用をサポートしていません。

強化型SSD CBSおよび超高速型SSD CBSは、現在暗号化の特性をサポートしていません。

現在、その他タイプのCBSから強化型SSD CBSおよび超高速型SSD CBSへのアップグレードをサポートしていません。

CBSのタイプの概要

高性能CBS

高性能CBSは、Tencent Cloudが打ち出した混合型ストレージタイプです。CacheのメカニズムによってSSDによく似た高性能なストレージ機能を提供する同時に、3つの複製による分散型のメカニズムにより、データの信頼性を保証します。高性能CBSは、データ信頼性に対する要求が高く、性能要件が普通・中程度のWeb/Appサーバー、業務ロジック処理、中小型サイト構築などの中小型のユースケースに適しています。

SSD CBS

SSD CBSは、Tencent CloudがNVMe SSD記憶媒体をベースに提供するフルフラッシュ型ストレージタイプです。3つの複製による分散型のメカニズムを採用し、低レイテンシー、比較的高いランダムIOPSとスループットのI/O

性能、データの安全性が99.9999999%となるストレージサービスを提供します。SSD CBSはI/O性能に対する要求が比較的高いシナリオに適しています。

強化型SSD CBS

強化型SSD CBSは、Tencent Cloudが新世代ストレージエンジンをベースに設計し、フルNVMe SSD記憶媒体と最新ネットワークインフラを基盤として提供する製品タイプです。3つの複製による分散型のメカニズムを採用し、低レイテンシー、高ランダムIOPS、高スループットのI/O性能、データの安全性が99.9999999%となるストレージサービスを提供します。強化型SSD CBSは、大型データベース、NoSQLなどのレイテンシーに対する要求が非常に高いI/Oバウンド型のシナリオに適しています。強化型SSD CBSでは、性能と容量の単独設定を特別にサポートしています。実際の業務の状況に応じて必要なストレージ容量およびストレージ性能を設定することが可能です。

超高速型SSD CBS

超高速型SSD CBSは、Tencent Cloudが自社開発した最新の高性能・分散型ストレージエンジンをベースに、高速ネットワークインフラおよび最新世代のストレージハードディスクを組み合わせ、超低レイテンシーの信頼性を安定的かつ長期的に提供します。超低レイテンシーが必要なI/Oバウンド型やスループットバウンド型のワークロードに非常に適しており、例えば、大型MySQL、HBase、Cassandraなどのデータベース業務、etcd、rocksdbなどのキーバリューストア、ElasticSearchなどのログ検索業務、ビデオ処理やライブストリーミングなどのリアルタイム・高帯域幅型の業務が挙げられます。重要な取引のワークロード、コアデータベース業務、大型OLTP業務、Media Processing Serviceなどのシナリオで優れたパフォーマンスを見せます。また超高速型SSD CBSでは、性能と容量の単独設定を特別にサポートしています。実際の業務の状況に応じて必要なストレージ容量およびストレージ性能を設定することが可能です。

性能指標

タイプ別のCBSの性能指標は次のとおりです。

性能指標	超高速型SSD CBS	強化型SSD CBS	SSD CBS	高性能CBS
シングルディスク 最大容量 (GB)	32000	32000	32000	32000
シングルディスク 最大IOPS	1100000	100000	26000	6000
ランダムIOPS性能 計算式	ベーシックパフォーマンス： $\text{ランダムIOPS} = \min\{4000 + 100 \times \text{容量 (GiB)}, 50000\}$ エクストラパフォーマンス： $\text{最大IOPS} = \min\{128 \times$	ベーシックパフォーマンス： $\text{ランダムIOPS} = \min\{1800 + 50 \times \text{容量 (GiB)}, 50000\}$ エクストラパフォーマンス： $\text{最大IOPS} = \min\{128 \times \text{エクストラ}$	ランダムIOPS = $\min\{1800 + 30 \times \text{容量 (GiB)}, 26000\}$	ランダムIOPS = $\min\{1800 + 8 \times \text{容量 (GiB)}, 6000\}$

	エクストラパフォーマンス値, 1050000}	パフォーマンス値, 50000} 詳細については、 強化型SSD CBS性能の説明 をご参照ください。		
シングルディスク 最大スループット (MB/s)	4000MB/s	1000MB/s	260MB/s	150MB/s
スループット性能 計算式 (MB/s)	ベーシックパフォーマンス：スループット = $\min\{120 + 0.5 \times \text{容量 (GiB)}, 350\}$ エクストラパフォーマンス：スループット = $\min\{1 \times \text{エクストラパフォーマンス値}, 3650\}$	ベーシックパフォーマンス：スループット = $\min\{120 + 0.5 \times \text{容量 (GiB)}, 350\}$ エクストラパフォーマンス：スループット = $\min\{1 \times \text{エクストラパフォーマンス値}, 650\}$ 詳細については、 強化型SSD CBS性能の説明 をご参照ください。	スループット = $\min\{120 + 0.2 \times \text{容量 (GiB)}, 260\}$	スループット = $\min\{100 + 0.15 \times \text{容量 (GiB)}, 150\}$
シングルチャネル ランダムリード/ライトのレイテンシー	0.1～0.5ms	0.3～1ms	0.5～3ms	0.8～5ms
特記事項	超高速型SSD CBSは、 標準ストレージ拡張型S5se インスタンスと一緒にのみ購入できます。その他のタイプのCVMの購入時は超高速型SSD CBSを使用できず、また超高速型SSD CBSを単独で購入することもできません。	強化型SSD CBSは、S5、M5、SA2およびそれ以上の新世代インスタンスにのみマウントできます。旧世代インスタンスの仕様にマウントした場合は、お約束した性能を保証できません**。	なし	なし

説明：

タイプごとのCBSの主な違いはI/Oパフォーマンスにあります。

適用ケース

強化型SSD CBSは、次のようなレイテンシー敏感型またはバウンド型I/Oのシナリオにより適しています。次のような例があります。

高性能、データの高信頼性：高負荷、重要なコア業務システムに適しています。データの3重化による冗長性を提供し、完全なデータバックアップ、スナップショット、秒レベルのデータリカバリ能力を備えます。

中大型データベース：100万行テーブルレベルのMySQL、Oracle、SQL Server、MongoDBなどの中大型リレーショナルデータベースでの応用に対応できます。

大型NoSQL：HBase、CassandraなどのNoSQL業務のストレージ性能に対する要件を満たせます。

ElasticSearch：ESのストレージの低レイテンシー性能に対する要件を満たせます。

Video Service：オーディオビデオのエンコード/デコード、ライブストリーミングおよびそのレコーディングなどのシナリオにおいて、ストレージの帯域幅に関する性能要件を満たせます。

ビッグデータ分析：TB、PBクラスのデータを対象に分散型処理能力を提供します。データ分析、データマイニング、ビジネスインテリジェント等の分野に適しています。

超高速型SSD CBSは、レイテンシーに対して極めて高い要求があるレイテンシー敏感型のシナリオに適しています。次のような例があります。

KVキーバリューストア（KVS）：rocksdb、コンテナetcdなど、キーバリューストア業務は、通常、シリアルI/Oモードでディスクに落とし込み、各I/Oの処理速度、すなわちレイテンシーに対して非常に厳格な要件があり、シングルチャネルのレイテンシーがシステム全体の性能を左右します。超高速型SSD CBSであれば最小で数十マイクロ秒のレイテンシーパフォーマンスを提供しますので、データの信頼性、高可用性が要求されるコア業務システムにも十分対応できます。

大型データベース：100万行テーブルレベルのMySQL、Oracle、SQL Server、MongoDBなど中大型リレーショナルデータベースでの応用に対応できます。

大型NoSQL：HBase、CassandraなどのNoSQL業務のストレージ性能に対する要件を満たせます。

ElasticSearch：ESのストレージの低レイテンシー性能に対する要件を満たせます。

Video Service：オーディオビデオのエンコード/デコード、ライブストリーミングおよびそのレコーディングなどのシナリオにおいて、ストレージの帯域幅に関する性能要件を満たせます。

コア業務システム：データの信頼性に対する要求が高いI/Oバウンド型などのコア業務システム。

ビッグデータ分析：TB、PBクラスのデータを対象に分散型処理能力を提供します。データ分析、データマイニング、ビジネスインテリジェント等の分野に適しています。

高性能、データの高信頼性：高負荷、重要なコア業務システムに適しています。3重化データによる冗長性を提供し、完全なデータバックアップ、スナップショット、秒レベルのデータリカバリ能力を備えます。

次のようなSSD CBSは大中型負荷のシナリオに適しています。

中型データベース：MySQLなど中大型リレーショナルデータベースでの応用に対応できます。

画像処理：画像処理などのデータ分析ストレージ業務に対応できます。

高性能CBSは主に次のデータ関連シナリオで活用されます。

中小型データベース、Web/Appサーバーなどに適し、長期的に安定したI/O性能の出力を提供します。

企業のオフィス業務など、ストレージ容量と性能のバランスが求められるシナリオに適しています。

コア業務のテスト、開発、統合調整環境でのI/Oのニーズを満足させます。

料金説明

詳細なCBSの料金については、[CBS価格一覧](#)をご参照ください。

CBS料金一覧

最終更新日：：2023-04-11 16:59:32

CBS 価格の詳細については、[Price Overview](#) をご覧ください。

リザーブドインスタンスの購入

リザーブドインスタンスの概要

最終更新日：：2023-11-24 10:11:42

課金概要

リザーブドインスタンス（Reserved Instances、略称はRI）は、実際の物理インスタンスではなく、ユーザーが使用する従量課金物理インスタンスに適用される請求書割引であり、本質的には依然として課金モードである前払いモードです。従量課金は、請求書割引を受けるためにRIの通常のライフサイクル範囲内であり、属性がRIと完全に一致している必要があります。RIは、従量課金モードよりも価格が安いです。

ユーザーが使用している従量課金の物理的なインスタンスとRIの属性が一致する場合に、従量課金の物理的なインスタンスは、割引が受けられます。既存のリソースインスタンスに基づいてRIを直接購入することができ、新規購入することもできます。

一定のRI前払金を支払うと、購入する期間内に特定の割引が受けられます。既存の年額/月額課金モードと従量課金モードに比較すると、RIと従量課金インスタンスを組み合わせた課金モードは柔軟性とコスト面での優位性を兼ね備えており、最大の割引を提供しています。

属性

リージョン：リージョンは物理的なデータセンターの地域を指します。例えば、シリコンバレー

アベイラビリティゾーン：アベイラビリティゾーン(Zone)は、Tencent cloudが同一リージョンに設立される電力とネットワークの相互的に独立している物理的なデータセンターを指します。例えば、シリコンバレーゾーン1

インスタンスタイプ：Tencent Cloudは複数のインスタンスタイプを提供しています。例えば、標準型など

インスタンス仕様：S4.SMALLなどのRI仕様

OS：Linux、Windows

説明：

従量課金は、請求書割引を受けるためにRI課金の通常のライフサイクル範囲内であり、属性がRIと完全に一致している必要があります。

コンセプトの比較

比較項目	RI課金	従量課金インスタンス
形式	課金モードとして、従量課金インスタンスの割引です。	従量課金 の方式で購入したインスタンスは、実行中の仮想マシンに相当する。
使	単独で使うことができないが、従量	個別に管理・設定することができ、シンプルなWebサー

用 方 法	課金インスタンスにマッチングして、従量課金インスタンスの料金を控除することができます。	バーとして使用したり、他のTencent Cloud製品と組み合わせて強力なクラウドソリューションを提供することができます。
-------------	---	--

利用説明

RIの価格は [価格設定センター](#) で表示できます。最終価格は請求書に基づいています。

[コンソール](#) での購入および [API](#) での購入をサポートします。

OS：現在、Tencent CloudはWindows、Linux OSのRI課金をサポートします。

支払い方式：全額前払い、一部前払い、の2種類の支払い方式を提供します。

クォータ：各ユーザーは、各アベイラビリティゾーンで最大20個のRI課金を持つことができます。

RI課金の構成は変更できません。RI課金と一致する従量課金インスタンスの構成が変更されると、RI課金の割引が適用されなくなります。

RI課金と一致する従量課金インスタンスがシャットダウンまたは強制終了される場合に、この従量課金インスタンスはRI課金の割引が適用されます。

現在、RI課金は返金できません。

課金方式

全額前払い(All Upfront)：購入時にすべての料金を前払いし、RIの利用期間中、追加の料金を支払わなくなります。このオプションは、次の2つのオンデマンドインスタンスの価格設定と比較して、最大の割引を提供します。

一部前払い(Partial Upfront)：購入時に低額の前払金を支払います。インスタンス料金は、RIの利用期間中、月額または割引時間単価で支払います。

注：RIでは、実際の使用に関係なく、全期間の料金をお支払いいただきます。

有効期間タイプ

1年（365日）

例えば、2019/05/25 11:15:24に1年間有効なCVM RIが正常に購入された場合、このRIの有効期間は2019-05-25 11:00:00 ~ 2020-05-25 11:59:59となります。

説明：RIが期限切れになると、マッチングされる従量課金インスタンスは正常に動作しますが、請求割引を受けられなくなります。

現在、RIがサポートしている購入可能なアベイラビリティゾーンおよびインスタンス仕様については、[購入可能なRI](#) ドキュメントで確認できます。

OS：現在、Tencent CloudはWindows、Linux OSのRI課金をサポートします。

支払い方式：全額前払い、一部前払い、の2種類の支払い方式を提供します。

有効期間：1年（365日）

クォータ：各ユーザーは、各アベイラビリティゾーンで最大20個のRIを持つことができます。

課金ルール

RIの決済サイクルは時間（3600秒）であり、各時間は、標準の24時間の時計の正時（毎時ゼロ分ゼロ秒）に開始します。たとえば、10:00:00～10:59:59 が1時間です。同一の決済サイクル内で複数の従量課金の物理インスタンスが同一RIに同時にマッチングすることがサポートされています。料金明細には、RIに成功にマッチングした控除記録とマッチングしなかった控除記録をそれぞれ表示します。

購入した後、RIは正時から有効期間を計算します。従量課金インスタンスとのマッチングに成功するかどうかに関係なく、有効期間中にRIの料金を支払う必要があります。予算とリソース状況に応じて適切な支払いタイプを選択できます。発効時間は正時ごとに計算され、失効時間は期限満了日に対応する正時です。例えば、2019-05-25 11:15:24に1年間有効のCVM RIを正常に購入した場合、このRIの発効時間と課金開始時間は2019-05-25 12:00:00、失効時間は2020/05/24 12:00:00となります。このRIを購入した時点で既にマッチングできるCVMリソースがある場合は、2019-05-25 11:00:00～11:59:59から課金を開始し、時間単価で課金されます。

リザーブドインスタンスのマッチングルール

最終更新日：2022-04-25 10:21:11

マッチングルール

リザーブドインスタンス(Reserved Instance RI)を購入し、リザーブドインスタンスの仕様と一致する従量課金インスタンスをすでに実行している場合、料金上の利点は即時適用されます。現在、リザーブドインスタンスはWindows、Linux OSで実行される従量課金インスタンスにのみ対応しています。アカウントの中にマッチングできる従量課金インスタンスがない場合、リザーブドインスタンスはアイドル状態になりますが、料金は発生します。マッチング条件に満たす従量課金インスタンスを購入すると自動的にマッチングし、マッチングに成功すると、割引は従量課金インスタンスの請求に適用されます。

手動でリザーブドインスタンスと従量課金インスタンスのマッチング状態を管理することができません。

リザーブドインスタンスの料金上の利点は、1時間あたり最大3600秒(1時間)のインスタンスの使用にも完全に適用されます。複数のインスタンスを同時に実行できますが、1時間あたり合計3,600秒までのRI割引しか受けられません。1時間あたり3,600秒を超えるインスタンスの使用量は従量制で請求されます。

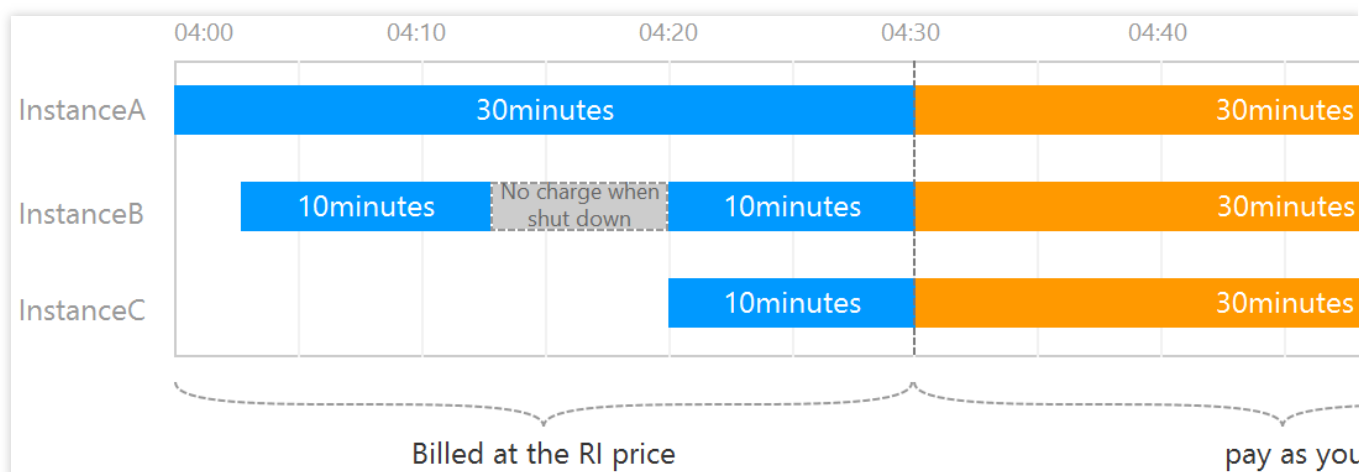
例えば、シリコンバレーゾーン1でモデルS3.16xlarge256のリザーブドインスタンスを購入した場合、このアカウントは、同じアベイラビリティゾーンで同一属性を持つモデルS3.16xlarge256の3つの従量課金インスタンスを1時間実行する場合、1つの従量課金インスタンスにはリザーブドインスタンスの1時間分の使用料が、他の2つのインスタンスにはオンデマンドの2時間分の使用料が課金されます。

ただし、シリコンバレーゾーン1でモデルS3.16xlarge256のリザーブドインスタンスを購入した場合、1時間以内に同一アベイラビリティゾーンで同一属性を持つ3つの従量課金インスタンス（A、B、C）をそれぞれ20分間ずつ実行した場合、インスタンスの合計実行時間を1時間とします。そうすると、リザーブドインスタンスの使用料が1時間分課金されるだけで、オンデマンドの使用料は課金されません。下図に示すように、これらの3つのインスタンスは、それぞれRIと20分間マッチングされます。

Pay-as-you-go instance	4:00-4:20	4:20-4:40	
A			
B			
C			

 Billed at the RI price

一致する3つの従量課金インスタンスが同時に実行されている場合、リザーブドインスタンスの料金上の特典は1時間あたり3600秒まで同時にすべてのインスタンスに適用されます。3600秒を超えると、利用料金が従量課金で請求されます。



有効時間

購入したリザーブドインスタンスの有効時間は、正時ごとに計算されます。リザーブドインスタンスは、作成された時点より前の正時から有効になり、次の正時から365日後で一年間のサイクルになります。

例えば、2019-05-25 11:15:24に1年間有効なCVM RIが正常に購入された場合、このリザーブドインスタンスの有効期間は2019-05-25 11:00:00 ~ 2020-05-25 11:59:59となります。

例えば、2019-05-25 11:00:00に1年間有効なCVM RIが正常に購入された場合、このリザーブドインスタンスの有効期間は2019-05-25 11:00:00 ~ 2020-05-25 11:59:59となります。

リザーブドインスタンスに関するユーザーガイド

最終更新日：：2023-04-11 17:02:23

概要

このドキュメントでは、リザーブドインスタンスの使用方法について説明します。

前提条件

すでにCVMコンソールにログインし、[リザーブドインスタンスページ](#)に進みます。

操作手順

1. リザーブドインスタンスの作成

詳細手順については、[リザーブドインスタンスの作成](#)をご参照ください。

2. リザーブドインスタンスリスト情報の確認

Cloud Virtual Machine

Instances

Dedicated Hosts

Reserved Instance

Placement Group

Images

Auto Scaling

Cloud Block Storage

Snapshots

SSH Key

Security Groups

EIP

Service Migration

Recycle Bin

Reserved Instance

Hong Kong, China

Other regions

Create Reserved Instance

Separate keywords with "|", and separate tags with carriage return

Reserved Instance ID/Name	Status	Availability Zone	Instance Type	Operating System	Specifications	Number of Pods	Payment Ty	Effective Date
ri-9dn1plzc Unnamed	Created	Hong Kong Zone 2	Standard S2	linux	S2.MEDIUM2	1	All Upfront	2020-09-10 20:00:00
ri-pezrtppc wgc	Created	Hong Kong Zone 2	Standard S2	linux	S2.MEDIUM2	1	All Upfront	2020-09-10 20:00:00
ri-aipw9zm2 wgc	Created	Hong Kong Zone 2	Standard S2	linux	S2.MEDIUM2	1	All Upfront	2020-09-10 20:00:00
ri-5rwoyq2o Unnamed	Created	Hong Kong Zone 2	Standard S2	linux	S2.MEDIUM2	2	All Upfront	2020-09-08 19:00:00
ri-kguknbl2 RI-2	Created	Hong Kong Zone 2	Standard S2	linux	S2.MEDIUM2	1	Partial Upfront	2020-09-08 16:00:00
Total items: 5								

20 / page

表示したいリザーブドインスタンスが存在するリージョンを選択します。

このページで、リザーブドインスタンスID/名前、ステータス、リージョン、アベイラビリティゾーン、インスタンスタイプ、規格、OS、リザーブドインスタンスの数、支払タイプ、発効日、有効期限などの情報を確認できます。リザーブドインスタンス属性については、[リザーブドインスタンスの課金モード](#)および[リザーブドインスタンスの概要](#)をご参照ください。

下図のように、右上の

 をクリックし、表示される「カスタムフィールドのリスト」ウィンドウで表示したいフィールドを選択できます。

Display Settings

Select the columns you want to display. With your screen resolution, up to 11 columns can be selected (10 selected now).

☒ Reserved Instance ID/Name	☒ Specifications
☒ Status	☒ Number of Pods
☐ Region	☒ Payment Type
☒ Availability Zone	☒ Effective Date
☒ Instance Type	☒ Expiry Date
☐ Operating System	☒ Operation

OK

3. リザーブドインスタンスの検索

現在、インスタンスID、リザーブドインスタンス名、ステータス、インスタンスタイプ、規格、支払タイプでリザーブドインスタンスの検索がサポートされています。

実際のニーズに応じて、検索ボックスにキーワードを入力し、

 をクリックして検索できます。また、フィルター (インスタンス ID など) を選択し、キーワードを入力して、

 をクリックして検索することもできます。下図に示すように：

Create Reserved Instance									
Separate keywords with "*" and separate tags with carriage return									
Reserved Instance ID/Name	Status ▾	Availability Zone	Instance Type ▾	Instance Name	Specifications	Number of Pods	Payment Type ▾	Effective Date	E
ri-██████████ match	Created	Frankfurt Zone 1	Standard S3	Instance ID	S3.LARGE16	1	No Upfront	2020-09-08 20:00:00	2
ri-██████████ RI-1	Created	Frankfurt Zone 1	Standard S3	Instance Status	S3.SMALL4	1	No Upfront	2020-09-08 11:00:00	2
				Instance Specification					1
				Payment Type					
				Instance Type					
Total items: 2									20 ▾ / page

4. リザーブドインスタンスの割引の確認

【請求書を表示】をクリックして、選択したリザーブドインスタンスの割引の詳細を確認できます。

Reserved Instance ID/Name	Status ▾	Availability Zone	Instance Type ▾	Operating System	Specifications	Number of Pods	Payment Type ▾	Effective Date	E
ri-██████████ match	Created	Frankfurt Zone 1	Standard S3	linux	S3.LARGE16	1	No Upfront	2020-09-08 20:00:00	2
ri-██████████ RI-1	Created	Frankfurt Zone 1	Standard S3	linux	S3.SMALL4	1	No Upfront	2020-09-08 11:00:00	2
Total items: 2									20 ▾ / page

5. リザーブドインスタンスからの CVM インスタンスの作成

詳細については、[リザーブドインスタンスからのCVMインスタンスの作成](#) をご参照ください。

リザーブドインスタンスの作成

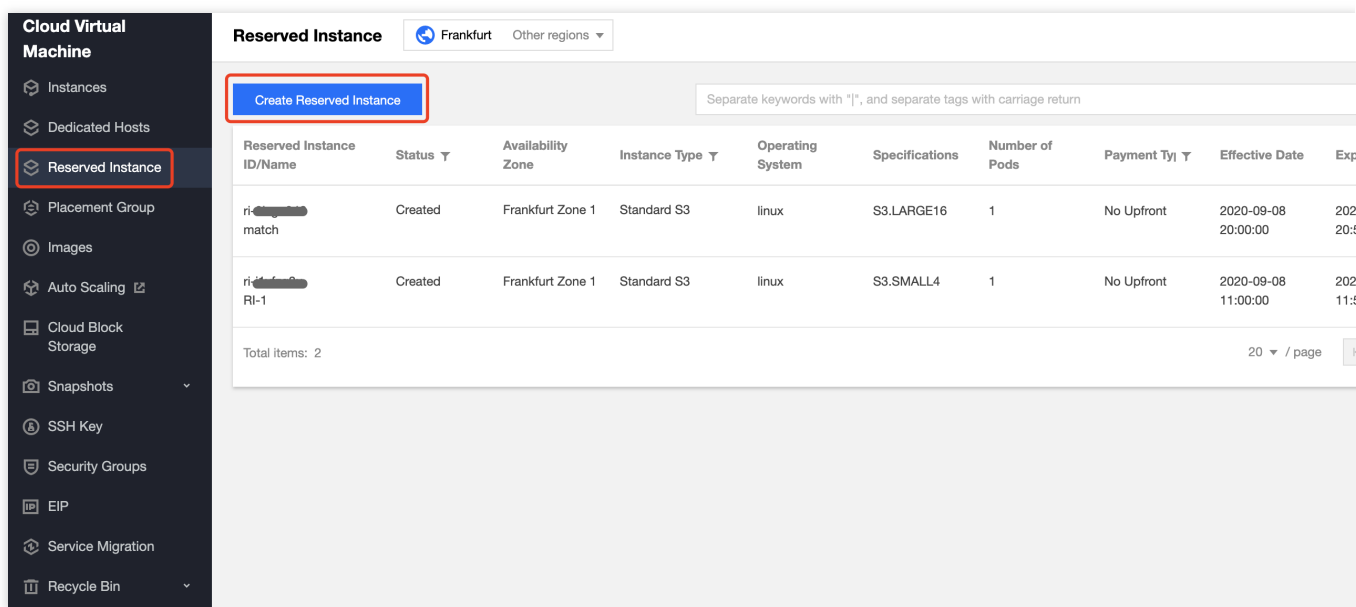
最終更新日：2023-12-13 14:41:36

操作シナリオ

リザーブドインスタンスは、従量課金インスタンスに適用されるアカウントの割引であり、従量課金モードの価格よりも安いです。このドキュメントでは、コンソールでリザーブドインスタンスを作成する方法について説明します。

操作手順

1. [CVMコンソール](#)にログインします。
2. 左のナビゲーションバーで、**リザーブドインスタンス**をクリックし、リザーブドインスタンス管理ページに進みます。
3. **リザーブドインスタンスを作成**をクリックし、リザーブドインスタンス購入ページに進みます。



4. 画面の指示に従って次の情報を設定します。

パラメータ	必須/オプション	設定説明
リージョン/アベイラビリティ	必須	照合を必要とする従量課金インスタンスに対応するリージョンとアベイラビリティゾーンを選択してください。

ゾーン		
OS	必須	現在、Windows、Linux OSのみがサポートされます。
有効期限	必須	リザーブドインスタンスの有効期限は1年です。
インスタンス	必須	RIと照合する従量課金インスタンスのタイプを選択してください。 従量課金インスタンスは、請求割引のメリットを得るには、リザーブドインスタンスの正常なライフサイクル内にあり、かつ、インスタンスタイプやリージョンなどの特定の属性に一致する必要があります。
リザーブドインスタンス名	オプション	ユーザーカスタマイズ項目です。作成するリザーブドインスタンス名を示します。 このパラメーターを空のままにすると、作成後のリザーブドインスタンス名を「未命名」とします。 60文字以内の任意の名前を入力できます。
課金モード	必須	実際のニーズに応じて選択してください： 全額前払い：すべてのリザーブドインスタンス料金支払いオプションのうち最も高い割引率が適用されます。リザーブドインスタンス期間全体の料金を一括で前払いし、同じインスタンスをオンデマンドベースで稼働させる場合に比べ、最も安い実行時間単価が適用されます。 一部前払い：購入時に低額の前払い金を支払い、インスタンス料金は、リザーブドインスタンスの利用期間中、月額または割引時間レートで支払います。このオプションは、リザーブドインスタンス料金支払いの前払いと時間単価のバランスを取ります。
数量	必須	購入するリザーブドインスタンスの数を示します。

5. **今すぐ購入**をクリックすると、支払いを完了できます。支払いを完了すると、[リザーブドインスタンスコンソール](#)でリザーブドインスタンスをクエリ、検索、管理することができます。**インスタンスの作成**をクリックしてリザーブドインスタンスからCVMインスタンスを作成するか、また[請求書の表示](#)をクリックしてリザーブドインスタンスの相殺控除明細を確認できます。

Cloud Virtual Machine

Instances

Dedicated Hosts

Reserved Instance

Placement Group

Images

Auto Scaling

Cloud Block Storage

Snapshots

SSH Key

Security Groups

EIP

Service Migration

Recycle Bin

Reserved Instance

Frankfurt

Other regions

Create Reserved Instance

Separate keywords with "|", and separate tags with carriage return

Reserved Instance ID/Name	Status	Availability Zone	Instance Type	Operating System	Specifications	Number of Pods	Payment Ty	Effective Date	Expiry Date
ri- match	Created	Frankfurt Zone 1	Standard S3	linux	S3.LARGE16	1	No Upfront	2020-09-08 20:00:00	2021-09-08 20:59:59
ri- RI-1	Created	Frankfurt Zone 1	Standard S3	linux	S3.SMALL4	1	No Upfront	2020-09-08 11:00:00	2021-09-08 11:59:59

Total items: 2

20 / page

パブリックネットワークを購入する

パブリックネットワーク課金方式

最終更新日：：2023-04-21 17:56:23

ネットワーク課金の概要

Tencent Cloud が提供するネットワークタイプのキャリアアクセスはいずれも BGP マルチパスであり、回線品質を保証しています。現在、ネットワークは次の 2 つのネットワーク課金方式を提供しています。

帯域幅ベース課金：パブリックネットワークの伝送レート（単位は Mbps）に基づいて課金されます。帯域幅利用率が 10% を超える場合は、帯域幅ベース課金を選択することを推奨します。

トラフィックベース課金：パブリックネットワークで伝送されたデータの総量（単位は GB）に基づいて課金されます。帯域幅利用率が 10% 未満の場合は、トラフィックベース課金を選択することを推奨します。

ネットワーク課金方式

注意：

トラフィックの急増による料金の上昇を防ぐため、帯域幅の上限を指定して制限することができます。この上限を超えた場合、デフォルトでパケットロスとなり、料金は計算されません。詳細については、[パブリックネットワークの帯域幅上限](#)を参照してください。

CVM 課金方式	ネットワーク課金方式	ネットワーク課金ルール
年額・月額課金	月額プラン帯域幅	毎月前払いを行い、ホストを購入する時に帯域幅の料金を事前に支払います。
	トラフィックベース	時間単位でパブリックネットワークのアウトプットトラフィックを課金します
従量課金	トラフィックベース	時間単位でパブリックネットワークのアウトプットトラフィックを課金します

関連ドキュメンテーション

[パブリックネットワークの課金](#)

パブリックネットワーク料金

最終更新日：2023-04-11 17:03:56

このドキュメントでは、さまざまな課金モデルでのパブリックネットワーク料金について説明し、ニーズに応じて適切な課金モデルをお選びいただけます。

説明：

このドキュメントではGeneral BGP IPタイプのパブリックネットワーク料金について説明します。Premium BGP IPとAccelerated IPタイプは共有帯域幅パッケージによる課金のみをサポートしています。詳細については、[共有帯域幅パッケージ](#)をご参照ください。

年額・月額課金

必要に応じて予め固定帯域幅を購入し、課金方式は前払いとなります。ビジネストラフィックのピーク値が異なる時間帯で比較的安定しており、長期間使用されるシナリオに適しています。

通常の BGP IP 課金価格

地域	価格（単位：USD/Mbps/月）	
	≤ 5Mbpsの部分	> 5Mbpsの部分
広州、上海、南京、北京、中国香港、シンガポール	3.4	11.83
成都、重慶		
ソウル、フランクフルト		
ジャカルタ、東京		
トロント、シリコンバレー、バージニア、バンコク、ムンバイ、サンパウロ		

課金の例 広州地域の通常の BGP IP を購入し、月額プラン帯域幅の課金方式を選択したとします。このユーザーが 15Mbps の固定帯域幅を 2 ヶ月間購入した場合、合計料金は $(3.4\text{USD/Mbps/月} \times 5\text{Mbps} + 11.83\text{USD/Mbps/月} \times 10\text{Mbps}) \times 2 \text{ ヶ月} = 270.6 \text{ USD}$ となります。

トラフィック課金

使用されたパブリックネットワークトラフィックに基づいて課金され、時間ごとの従量課金制です。この課金モデルは、時間帯の違いによって業務トラフィックのピーク変動が大きくなるシーンに適しています。

価格

リージョン	価格（単位：米ドル/GB）
中国大陸地区（香港、マカオ、台湾地区を含まず）、中国香港、ジャカルタ、ソウル	0.12
東京	0.13
シンガポール	0.081
サンパウロ	0.15
フランクフルト、シリコンバレー、トロント	0.077
ムンバイ、バンコク	0.1
バージニア	0.075

課金の例

広州リージョンのEIPを購入して、トラフィック課金モデルを選択したと仮定した場合。当該ユーザーが07:00:00～07:59:59の間に合計で10GBのトラフィックを使用した場合は、08:00:00時に発生する費用は次のようになります： $0.12 \text{ 米ドル/GB} \times 10 \text{ GB} = 1.2 \text{ 米ドル}$

説明：

トラフィックの変換単位は1024です。例えば、 $1 \text{ TB} = 1024 \text{ GB}$ 、 $1 \text{ GB} = 1024 \text{ MB}$ となります。

パブリックネットワークのトラフィックは、下りバイト数（アウトバウンド方向のトラフィックバイト数）をもとに合計して得られたトラフィックデータです。実際のネットワーク転送で発生するネットワークトラフィックは実質のアプリケーション層のトラフィックよりも5%～15%多くなります。したがって、Tencent Cloudが合計するトラフィックは、ユーザーがサーバー側で算出するトラフィックよりも10%前後、多くなる可能性があります。

TCP/IPヘッダーの消費： TCP/IPプロトコルのHTTPリクエストに基づき、各パケットのサイズは最大1500バイトであり、TCPおよびIPプロトコルの40バイトのヘッダーが含まれます。ヘッダー部分はトラフィックを発生させますが、アプリケーション層によって合計されることはありません。この部分の費用は3%前後になります。

TCP再送： 正常なネットワーク伝送プロセスにおいては、送信されるネットワークパケットの3%～10%前後がインターネットによって消失します。消失後は、サーバーが消失部分を再送します。この部分のトラフィックアプリケーション層も集計できません。占有率はトラフィック全体の3%～7%になります。

共有帯域幅パッケージ

共有帯域幅パッケージは複数のIPを集めた課金モードです。業務中のパブリックネットワークのトラフィックピークが異なる時間帯に分散しているとき、共有帯域幅パッケージによって帯域幅を統合する課金モードを実現し、パブリックネットワーク費用を大幅に低減できます。

次の表に示すように、各種IP回線タイプは、各種共有帯域幅パッケージタイプと料金に対応しています。

IP回線タイプ	共有帯域幅パッケージタイプ
General BGP IP	標準BGP帯域幅パッケージ
Premium BGP IP	高品質BGP帯域幅パッケージ
Accelerated IP	AIA BGP 帯域幅パッケージ

関連ドキュメント

[パブリックネットワーク帯域幅の上限](#)

パブリックネットワーク帯域幅の上限

最終更新日：2024-08-07 14:59:20

このドキュメントでは、CVMインスタンスのアウトバウンドおよびインバウンドの帯域幅上限、さまざまな課金モデルでのピーク帯域幅の違いについてご説明します。

アウトバウンド帯域幅上限（ダウンストリーム帯域幅）

設定したパブリックネットワーク帯域幅の上限は、デフォルトでアウトバウンド帯域幅の上限、つまりCVMインスタンスから発信する帯域幅を示します。パブリックネットワーク帯域幅の上限はネットワークの課金モデルによって異なります。具体的な情報は以下のとおりです：

次のルールは、2020年2月24日00:00以降に作成されたインスタンスに適用されます。

ネットワーク課金方式	インスタンス		帯域幅上限の設定可能範囲（Mbps）
	インスタンス課金方式	インスタンス構成	
トラフィック課金	従量課金インスタンス	ALL	中国大陸地域、中国香港、シンガポール：0 - 100 その他の地域：0-200
	年額・月額課金インスタンス	ALL	0 - 200
年額・月額課金	年額・月額課金インスタンス	ALL	0 - 200
BWP	ALL		0 - 2000

2020年2月24日00:00以前に作成されたマシンは、以下のルールに従います。

ネットワーク課金方式	インスタンス		帯域幅上限の設定可能範囲（Mbps）
	インスタンス課金方式	インスタンス構成	
トラフィックベース課金	従量課金インスタンス	ALL	0 - 100
BWP	ALL		0 - 1000

インバウンド帯域幅上限（アップストリーム帯域幅）

パブリックネットワークのインバウンド帯域幅は、CVMインスタンスに着信する帯域幅を示します。

利用したトラフィック量に応じて課金されるパブリックIP：

ユーザーが購入した帯域幅が10Mbps以下の場合、Tencent Cloudは10 Mbpsのパブリックネットワークのインバウンド帯域幅を割り当てます。

ユーザーが購入した帯域幅が10Mbpsを超える場合、Tencent Cloudは購入した帯域幅に等しいパブリックネットワークのインバウンド帯域幅を割り当てます。

共有帯域幅パッケージに応じて課金されるパブリックIP：

Tencent Cloudは、購入した帯域幅に等しいパブリックネットワークのインバウンド帯域幅を割り当てます。

ピーク帯域幅

ピーク帯域幅は、「トラフィック課金」と「帯域幅課金」の両方に適用されますが、両者の意味合いは異なります。2つの料金プランの違いが一目でわかるように一覧にまとめました：

課金モデル	ピーク帯域幅の違い	説明
トラフィック課金	ピーク帯域幅は、コミットされた帯域幅ではなく、最大帯域幅と見なされるだけです。リソースの競合が発生した場合、ピーク帯域幅が制限される場合があります。	実行中のすべての従量課金インスタンス (CVM、EIP、Elastic IPv6) のピーク帯域幅の合計は、1つのリージョン内で5Gbpsを超えることはできません。アプリケーションが帯域幅保証またはそれ以上の帯域幅を必要とする場合は、固定帯域幅に応じて課金されるパブリックネットワーク帯域幅を購入してください。
帯域幅課金 (月額帯域幅 および含む)	ピーク帯域幅はコミットされた帯域幅と見なされます。リソースの競合が発生した場合、ピーク帯域幅は保証され、制限を受けません。	固定帯域幅（月額帯域幅および含む）に応じて課金される実行中のすべてのインスタンス (CVM、EIP) のピーク帯域幅の合計は、1つのリージョン内で50Gbpsを超えることはできません。より多くの帯域幅が必要な場合は、営業担当者にお問い合わせください。

関連ドキュメント

[パブリックネットワーク帯域幅の調整](#)

パブリックネットワーク課金方式の変更

最終更新日：2023-04-10 19:27:40

現在のネットワーク課金方式がお客様のビジネスニーズを満たせない場合、帯域幅の調整または課金モードの調整を選択することができます。具体的な操作については、[ネットワーク構成の調整](#)を参照してください。この文章では、帯域幅と課金方式を調整する際の制限および調整後の料金について説明します。

帯域幅の調整

CVM の課金方式	ネットワーク課金方式	帯域幅の調整
従量課金	トラフィックベース	帯域幅のアップグレードまたはダウングレードが可能で、即座に有効になります。料金はトラフィックベースで決済され、帯域幅の調整は料金決済に影響を与えません。
年額・月額課金	トラフィックベース	帯域幅のアップグレードまたはダウングレードが可能で、即座に有効になります。料金はトラフィックベースで決済され、帯域幅の調整は料金決済に影響を与えません。
年額・月額課金	月額プラン帯域幅	サポートしません。

課金方式の調整

CVM の課金方式	ネットワーク課金方式	ネットワーク課金方式の調整
従量課金	トラフィックベース	ネットワーク課金方式を変換することはできません。
年額・月額課金月	トラフィックベース	月額プラン帯域幅方式に変換可能で、1台につき1回のみ変換することができます。
	月額プラン帯域幅	月額プラン帯域幅方式に変換可能で、1台につき1回のみ変換することができます。使用済み帯域幅は、1時間あたりの帯域幅単価で課金されます。

計算の例

帯域幅の単価は [パブリックネットワークの課金方式](#) の価格を基準とします。

説明：

ネットワーク料金のみ計算され、CVM およびその他のデバイス料金は別途請求となります。

帯域幅の調整

トラフィックベース課金の帯域幅のアップグレード・ダウングレード

トラフィックベースで課金されるホストの帯域幅上限は、いつでもアップグレード・ダウングレードすることができます。帯域幅制限の調整はパブリックネットワークの料金に影響を与えず、パブリックネットワークの料金は実際に使用されたトラフィックに応じて課金されます。

パブリックネットワーク課金方式の調整

年額・月額課金インスタンスの「月額プラン帯域幅課金」が「トラフィックベース課金」に変換されます

CVM の課金方式年額・月額課金インスタンスで、そのネットワーク課金方式が月額プラン帯域幅課金である場合、トラフィックベース課金に変換することができ、CVM 1 台につき 1 回のみ変換することができます。変換後の払い戻し料金 = 購入した月額プラン帯域幅料金 - 使用したリソース料金。

使用したリソース料金：リソースが丸 1 ヶ月使用された場合、丸 1 ヶ月使用された分の月額プラン帯域幅料金で課金されます。1 ヶ月未満の場合は、使用済み時間に応じて時間プラン帯域幅の料金で課金されます。使用済み時間は秒までの正確さとします。

購入時に使用した金券は払い戻しをサポートしておらず、金券以外の料金は支払い方法（現金/贈呈マネー）と支払い比率に応じて、支払い元の Tencent Cloud アカウントに払い戻されます。

例えば、2020 年 6 月 1 日 0 時に、広州地域の CVM にパブリックネットワーク 2Mbps の月額プラン帯域幅を 6.8 USD/月で 3 ヶ月間購入したとします。2020 年 7 月 2 日 12 時（使用済み時間は 1 ヶ月+36 時間）に、2Mbps の月額プラン帯域幅がトラフィックベース課金に変換されます。

購入した月額プラン帯域幅の料金 = $6.8 \times 3 = 20.4$ USD。

使用済みリソース料金 = $6.8 + 0.0058 \times 2 \times 36 = 7.2176$ USD。

変換後のネットワーク払い戻し料金 = $20.4 - 7.2176 = 13.1824$ USD。

説明：

使用済みリソース料金のうち、丸 1 ヶ月がある場合は丸 1 ヶ月分の料金に基づき計算され、1 ヶ月未満の場合は変換後の 1 時間当たりの帯域幅単価で計算されます。

≤ 5Mbps : 0.0058 USD/Mbps/時間。

> 5Mbps : 0.0208 USD/Mbps/時間。

使用済みリソース料金のうち、6.8 USD は丸 1 ヶ月間使用した場合の月額プラン帯域幅の料金であり、 0.0058 USD/Mbps/時間 $\times$ 2Mbps $\times$ 36 時間は、1 ヶ月間未満の場合の 1 時間あたりの帯域幅の料金です。

年額・月額課金インスタンスの「トラフィックベース課金」から「月額プラン帯域幅課金」への変換

CVM の課金方式は年額・月額課金のインスタンスであり、そのネットワーク課金方式がトラフィックベース課金の場合、月額プラン帯域幅課金に変換できます。トラフィック料金は、変換時に時間単位で請求され、変換後に月額プラン帯域幅の課金方式に従って計算されます。CVM 1 台につき 1 回のみ変換できます。

説明：

年額・月額課金インスタンスのトラフィックベース課金は月額プラン帯域幅課金に変換され、パブリックネットワークのデフォルト時間はインスタンスの残りの時間（日数単位）であり、日数の割合（すなわち残りの日数÷30 日）で課金されます。

例えば、2020 年 6 月 1 日に広州地域で 3 ヶ月の年額・月額課金の CVM を購入し、同時に 2Mbps のトラフィックベース課金のパブリックネットワーク帯域幅を購入したとします。2020 年 7 月 2 日（残りの時間は 30+31=61 日となる）に、2Mbps のトラフィックベース課金の帯域幅を 6.8USD の月額プラン帯域幅に変換しました。

残り日数の割合 = $(30+31) / 30 = 2.033$ 。

変換後の追加料金 = $6.8 \times 2.033 = 13.8244$ CNY。

イメージの請求

最終更新日：2023-08-01 16:07:24

このドキュメントでは、CVMイメージの料金の詳細について説明します。

料金の概要

イメージを使用すると、一定の料金が発生します。各タイプのイメージの料金の詳細は次のとおりです：

イメージタイプ	説明
パブリックイメージ	オープンソースイメージと商用イメージを含む： オープンソースイメージはすべて無料で提供されています。 商用イメージを使用すると、ライセンス利用料金が発生します。Tencent Cloud は現在、Windows Server イメージと Red Hat Enterprise Linux イメージの 2 つの商用イメージを提供しています。
カスタムイメージ	カスタムイメージの費用は次の 2 つのコンポーネントで構成： スナップショット料金：イメージの基盤となるデータストレージは、CBS スナップショットサービスを使用しているため、カスタムイメージを保持すると、スナップショット料金が発生します。中国本土には 80GB の 無料枠 が提供されます。使用量が 80GB を超えた分は、従量課金となります。詳細については、 スナップショットの請求 をご参照ください。 イメージ料金：カスタムイメージのソースが有料イメージである場合、そのカスタムイメージを使用すると料金が発生します。
共有イメージ	共有イメージは、作成されたカスタムイメージを他の Tencent Cloud アカウントに共有したものです。イメージのソースが有料イメージである場合、その共有イメージを使用すると料金が発生します。

Windows Server イメージの請求

課金の例

インスタンス仕様: シンガポール 1、標準 S5.MEDIUM2、従量課金制。

Windows インスタンスの料金は 0.05 USD/時間です。「イメージ」項目は別途課金されません。つまり、0 USD と表示されます。下図に示すとおり：

Instance ⓘ	Specifications	vCPU ⓘ	MEM	Processor	Private netwo bandwidth
☒ Standard S5	S5.MEDIUM2	2Core	2GB	Intel Xeon Cascade Lake 8255C...	1.5Gbps
☐ Standard S5	S5.MEDIUM4	2Core	4GB	Intel Xeon Cascade Lake 8255C...	1.5Gbps
☐ Standard S5	S5.MEDIUM8	2Core	8GB	Intel Xeon Cascade Lake 8255C...	1.5Gbps
☐ Standard S5	S5.LARGE4	4Core	4GB	Intel Xeon Cascade Lake 8255C...	1.5Gbps
☐ Standard S5	S5.LARGE8	4Core	8GB	Intel Xeon Cascade Lake 8255C...	1.5Gbps
☐ Standard S5	S5.LARGE16	4Core	16GB	Intel Xeon Cascade Lake 8255C...	1.5Gbps
☐ Standard S5	S5.2XLARGE8	8Core	8GB	Intel Xeon Cascade Lake 8255C...	3Gbps
Total 28 items					
12 (Standard S5, 2C2G)		Quantity	- 1 +		Configuration fee 0.05USD/hour 0.06USD/hour

Red Hat Enterprise Linux イメージの請求

Red Hat Enterprise Linuxは商用 Linux ディストリビューションです。イメージ料金にはライセンス料が含まれております。料金は、Tencent Cloud のすべてのリージョンで同じです。

説明：

Tencent Cloud での Red Hat Enterprise Linux イメージのライセンスの購入には、割引 (スポット インスタンスの割引を含む) とクーポンは適用されません。

CVMの購入時にRed Hat Enterprise Linux認証に合格したインスタンスタイプを選択した場合は、Red Hat Enterprise Linuxイメージを使用できます。サポートされているイメージタグとインスタンスタイプについては、[Red Hat Enterprise Linux イメージに関するよくあるご質問](#) をご参照ください。

Red Hat Enterprise Linux イメージは現在ベータ版テスト版実施中で、ベータ版ユーザになろうとする方は、[チケットを送信](#) してください。

Tencent Cloud によって認可された Red Hat Enterprise Linux イメージの料金は下の表をご覧ください。

インスタンス仕様	時間単位の従量課金（1 時間未満の時間は 1 時間として課金）
4 vCPU およびそれ以下	0.06 USD/時間

4 vCPU 以上

0.13USD/小时

説明：

スポットインスタンスの作成時にライセンス付きの Red Hat Enterprise Linux イメージを選択した場合、イメージの料金は従量制で請求され、スポットインスタンスの割引が適用されません。

OS再インストール後のイメージの請求

Red Hat Enterprise Linux OS と他の OS 間の切り替えをサポート（説明：中国本土以外の地域では、Windows と Linux 間の切り替えをサポートしません）し、イメージの料金は新たなイメージに基づいて計算されます。

従量課金制インスタンスの場合、Red Hat Enterprise Linux を使用してインスタンス OS を再インストールすると、イメージに対して従量制で請求されます。Red Hat Enterprise Linux イメージが請求サイクル中に使用される場合は、そのサイクル中に発生したイメージライセンス料金を支払う必要があります。

例：

2023 年 1 月 1 日の午前 8 時に CentOS インスタンスを購入した、午前 8 時から 9 時まではイメージのライセンス料は発生しません。午前 9 時 30 分に、Red Hat Enterprise Linux を使用してインスタンス OS を再インストールし、午前 9 時から 10 時までの請求サイクルに対してイメージのライセンス料を支払う必要があります。午前 10 時 30 分に、CentOS を使用してインスタンス OS を再インストールし、午前 10 時から 11 時までの請求サイクルに対してイメージのライセンス料を支払う必要があります。午前 11 時以降は、イメージのライセンス料を支払う必要はありません。

RIモードでのイメージの請求

Linux インスタンスに RI を選択する場合は、Red Hat Enterprise Linux イメージのライセンス料を別途支払う必要があります。

Tencent Cloudによって認可された Red Hat Enterprise Linux イメージを使用した従量課金制インスタンスは、インスタンス使用の属性が RI の属性に一致すれば、RI の割引料金が自動的に請求書に適用されます。ただし、イメージのライセンス料には割引は適用されず、別途請求されます。

構成の変更

Red Hat Enterprise Linux OS を使用するインスタンスの構成と課金モードは変更できません。

EIP 課金

最終更新日：2023-05-15 16:04:06

EIP料金は、「Bill-by-IP」と「Bill-by-CVM」の2種類のアカウントに応じて異なる方法で請求されます。このドキュメントでは、2種類のアカウントに対してEIP料金の請求方法について説明します。

背景情報

現在、Tencent Cloudアカウントには「Bill-by-IP」と「Bill-by-CVM」の2種類があります。2020年6月17日以降に新規登録するTencent Cloudアカウントはすべて「Bill-by-IP」アカウントになります。両者は以下の点が異なります。

Bill-by-CVM: CVM上で帯域幅/トラフィックを管理します。「Bill-by-CVM」アカウントのIPおよびCLBにはネットワークの帯域幅またはトラフィックの属性はありません。CVMで購入および管理する必要があります。

Bill-by-IP: IPおよびCLBで帯域幅/トラフィックを管理します。「Bill-by-IP」アカウントによって購入されたCVMは、外部ネットワーク帯域幅またはトラフィックリソースを保持しなくなり、パブリックネットワークCLB/IPが外部ネットワーク帯域幅またはトラフィックリソースを管理します。

説明：

アカウントの種類を確認する方法の詳細については、[Checking Account Type](#)をご参照ください。

費用内訳

EIPの費用は、**IPリソース費用**および**パブリックネットワーク費用**からできています。「Bill-by-IP」と「Bill-by-CVM」アカウントの料金は以下のとおりです：

「Bill-by-CVM」アカウント

「Bill-by-CVM」アカウントでは、IPリソース料金のみが発生します。パブリックネットワーク料金は、CVMインスタンスに対して請求されます。

EIPがクラウドリソースに関連付けられていない場合:EIPは **IPリソース料金のみ請求し、1時間ごとに利用料が課金されます。**

EIPがクラウドリソースに関連付けられている場合：EIP自体には料金はかかりません。CVMインスタンスには、パブリックネットワークに基づいて課金されます。

「Bill-by-IP」アカウント

説明：

この製品の年額・月額販売方式は内部テスト中であり、価格ドキュメンテーションは参考用であり、最終価格は請求書に従うものとします。必要に応じて、[ビジネスまでお問い合わせ](#)ください。

「Bill-by-IP」アカウントでは3つの料金プランをご用意しています。詳細は以下の通りです：

トラフィック課金：パブリックネットワーク料金とIPリソース料金を請求します。

EIPがクラウドリソースに関連付けられていない場合:EIPは [IPリソース料金](#)のみ請求し、1時間ごとに利用料が課金されます。パブリックネットワーク料金は請求しません。

EIPがクラウドリソースに関連付けられている場合：EIPは[パブリックネットワーク料金](#)のみを請求します。

月間サブスクリプション制の帯域幅：EIPがクラウドリソースに関連付けられているかどうかに関係なく、[パブリックネットワーク料金](#)のみを請求します。

Bandwidth Package：パブリックネットワーク料金とIPリソース料金を請求します。

EIPがクラウドリソースに関連付けられていない場合:EIPは[IPリソース料金](#)のみ請求し、1時間ごとに利用料が課金されます。パブリックネットワーク料金は請求しません。

EIPがクラウドリソースに関連付けられている場合：EIPは[パブリックネットワーク料金](#)のみを請求します。

IPリソースの料金計算

課金サイクル

IPリソースの料金は、時間ごとの従量課金制で、後払いは可能です。

IPリソースの料金は、EIPを申請した時点から課金されます。クラウドリソースに関連付けられている場合は課金が一時的に停止され、クラウドリソースとの関連付けを解除する場合は課金が再開され、EIPが解放されると課金が停止されます。リソースは秒単位で請求されますが、1時間ごとに決済されます。同じ課金サイクルで、複数回の関連付けおよび関連付け解除を行うと、課金対象期間は、クラウドリソースからのEIPの関連付けの解除に費やされた累積時間です。

課金の計算式

IPリソースの料金 = EIP が配置されているリージョンのアイドル価格×課金時間

価格

リージョン	(米ドル/時間)
中国大陸.ジャカルタ	0.031
中国香港 シンガポール フランクフルト ソウル トロント バージニア シリコンバレー	0.04

バンコク 東京 ムンバイ	
サンパウロ	0.03

課金事例

「Bill-by-CVM」アカウントを持つユーザーが、09:00:00 - 09:59:59の間に広州地域のEIPを申請し、15 分間 (900 秒) アイドル状態になった後にCVMを関連付けた場合は、IPリソースの料金は、0.031米ドル/時間 * (900/3600) 時間 = 0.00775 (米ドル) になります。

ご注意：

不要な IP リソース料金が発生しないように、EIPを申請したらすぐにクラウドリソースに関連付け、クラウドリソースとの関連付けを解除する場合は、使用しなくなったEIPはすぐに解放してください。

パブリックネットワーク料金

EIPによって生成されたパブリックネットワークトラフィックには、パブリックネットワーク料金が請求されます。料金プランは、「トラフィック課金」、「帯域幅課金」の2種類があります。詳細については、[パブリックネットワーク料金](#) をご参照ください。

支払い延滞の説明

アカウント残高がマイナスになっている場合

支払い延滞期間	説明
< 2時間	リソースは引き続き使用でき、アカウントには引き続き課金されます。
≥ 2時間、< 2 時間+ 24時間	EIPは保持されますが、サービスは一時停止されます。料金は請求されなくなり、EIPは使用できなくなります。
≥ 2時間 + 24 時間	クラウドリソースに関連付けられていないEIPが解放されます。既にクラウドリソースに関連付けられているEIPは保持されますが、サービスは停止されます。料金は請求されなくなり、EIPは使用できなくなります。

関連付けられているクラウドリソースの支払い延滞

EIPに関連付けられているクラウドリソースの支払いが遅れた場合、EIPはリソースから関連付け解除され、アイドル状態になり、アイドル料金が発生します。EIPを使用する必要がなくなった場合は、コンソールで解放してく

ださい。

価格ファイルはご参考までに、最終価格は請求書に基づいています。

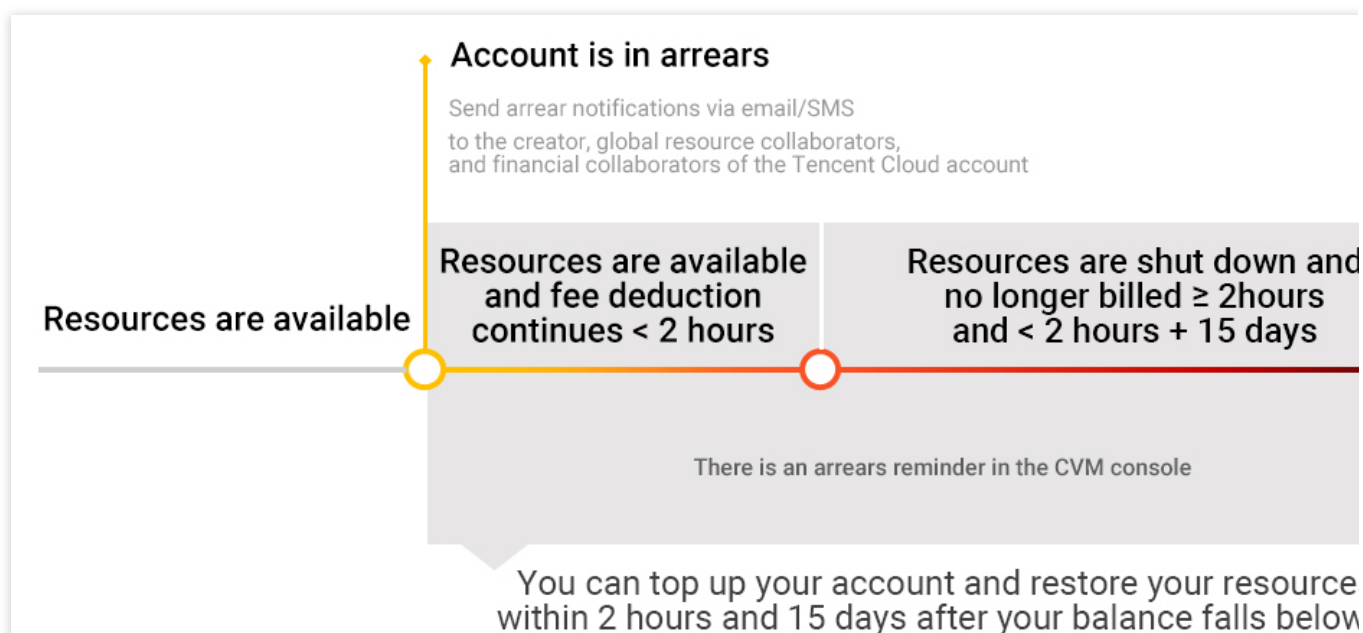
お支払い遅れについて

最終更新日：：2023-07-21 10:57:12

ご注意：

If you are a customer of a Tencent Cloud partner, the rules regarding resources when there are overdue payments are subject to the agreement between you and the partner.

従量課金CVMインスタンス



注意事項

従量課金リソースが使わなくなった場合は、引き続き課金されないように、タイムリーにリソースを終了してください。

CVMインスタンスが終了または回収されると、そのデータは消去され、復元できなくなります。

実際のリソース消費量が刻一刻と移り変わっているため、残高不足アラートには若干差異が生じる場合がございます。

アラート

アラート タイプ	説明

支払い遅延のリマインダー	従量課金制のリソースは、時間単位で課金されます。アカウント残高がマイナスになっている場合は、メールやSMSでTencent Cloudアカウントの作成者、グローバルリソース協力者および財務協力者に通知します。
支払い遅延のアラート	この機能はデフォルトで無効になっています。

支払遅延時のリスクと対処法

アカウントの残高が引き落とされてマイナスの値になった時点から、**2時間以内**にCVMインスタンスを引き続き使用し、通常どおり課金されます。2時間後、アカウントの残高がマイナスのままである場合、CVMインスタンスは自動的にシャットダウンされ、課金が停止されます。

自動シャットダウン後、CVMインスタンスは次の段階を経ます。

自動シャットダウン後の経過時間	説明
≤ 15日	アカウントの残高がプラスになると、課金が再開され、CVMインスタンスを引き続き使用できます。
	アカウントの残高がマイナスのままである場合は、CVMインスタンスを起動できません。
> 15日	アカウントのマイナス残高の状態が15日を超えて継続する場合には、従量課金CVMインスタンスが回収されます。インスタンス中のすべてのデータが消去され、復元できなくなります。CVMインスタンスが回収されると、Tencent Cloudアカウントの作成者とすべての協力者にメールとSMSで通知されます。

利用したトラフィック量に応じて課金されるネットワーク

アラートタイプ	説明
残高アラート	トラフィックの変動が大きくて予測しにくいいため、システムは残高アラート機能を提供していません。

支払い遅延のアカウント	アカウントの残高が引き落とされてマイナスの値になった時点から、トラフィックによって課金するネットワークが2時間以内に利用可能であり、アカウントが引き続き課金されます。2時間後、アカウントの残高がマイナスのままである場合、サービスは自動的に停止します。アカウントの残高がプラスになると、サービスを再開します。
-------------	---

ご注意：

トラフィック料金の詳細については、[パブリックネットワークの課金方法](#) をご参照ください。

ディスクメディアの仕様変更による差額分の支払い

最終更新日：2023-04-11 14:33:02

Tencent Cloud CVM は、ストレージハードウェアメディアの仕様変更をサポートしています。必要に応じて、CVM コンソールでディスクメディアの仕様変更を行うことができます。仕様変更に伴う追加費用が発生した場合は差額分を決済していただく必要があります。変更は、決済完了後すぐに有効になります。

仕様変更の円滑化を図るためには、先に [ディスクメディアの仕様変更](#) に記載されている [前提条件](#) と [注意事項](#) をご覧ください。

料金ルール

ローカルディスクからクラウドディスクに変更する場合、「日単位の差額支払い」ルールに準拠します。

差額 = 月額差額（0以下の場合は0として計算） * ライフサイクルの残りの日数 / (365 / 12) * 適用される割引

月額差額：新しいディスク構成と古いディスク構成の月額定価の差額。

差額料金は日単位で計算します。ライフサイクルの残りの日数 = リソースの有効期間 - 現在の時間です。

適用される割引：ライフサイクルの残りの日数を基準に、適用される割引を下方方向に整合します。その割引は現在のネットワークで有効な割引です。

リソースの有効期間は、メディアタイプの変更による影響を受けません。

ローカルディスクからクラウドディスクに変更する場合、クーポンおよびプラットフォーム贈呈残高（贈呈金）を使用して、差額を支払うことができます。

ご注意：

新しいディスク構成の価格が古いディスク構成の価格よりも低い場合、返金はありません。